



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan
Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_yymca/ys/ashiya.html

主 題

- 国際協会会長 Ulrik Lauridesen(デンマーク)
“Let Your Light Shine”「輝かそう、あなたの光を」
- アジア太平洋地域会長 利根川恵子(東日本)
“Be the light for change”「変革のための光となろう」
- 西日本区理事 深谷 聡 (名古屋クラブ)
“Let's illuminate the light of hope for future”
「未来に灯そう(ともそう)希望の光り」
- 六甲部部长 井出 浩 (神戸クラブ)
「YMCAとのさらなる協働を目指して」
- 芦屋クラブ会長 上野恭男
「楽しいクラブライフを！」

今月の聖句

「だれでも初めに良いぶどう酒を出し、酔いがまわったところに劣ったものを出すものですが、あなたは良いぶどう酒を今まで取って置かれました。」 <ヨハネ福音書 2:10>

4月第1例会

と き: 2024年4月17日(水) 19:00~21:00
と ころ: スターティング・オーバー
司 会: 福原吉孝ワイズ

- | | |
|---------------------------|-----------|
| 1. 開会点鐘 | 上野恭男会長 |
| 2. クラブソング斉唱 | 一同 |
| 3. 聖句朗読 | 羽太英樹ワイズ |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 司会 |
| 5. 食前感謝 | 田辺征一ワイズ |
| 6. 会食・懇談 | |
| 7. エンタテイメント | テトラポット |
| ロックンロール | ブルーグラスバンド |
| 8. 第2例会議事録の承認 | 上野恭男会長 |
| 9. 事業委員の報告 | 各事業委員 |
| 10. YMCA報告 | 横山徹太郎担当主事 |
| 11. ニコニコ献金報告 | 坂東幸子ワイズ |
| 12. 誕生日祝い | 上野恭男会長 |
| 大岩雅典・島田 恒・福原吉孝・大岩恵美(メネット) | |
| 13. 閉会点鐘 | 上野恭男会長 |

- | | |
|------------|-----------|
| 会 長 | 上野恭男 |
| 直前会長 | 大岩雅典 |
| 副 会 長 | 山口光一・福原吉孝 |
| 書 記 | 柏原佳子 |
| 会 計 | 桑野友子 |
| 監 事 | 島田 恒 |
| 担当主事 | 横山徹太郎 |
| 六甲部国際・交流主査 | 柏原佳子 |

4

Apr., 2024
322号

RBM 運動に協力しましょう

芦屋クラブ会長 上野恭男



4月の強調月間テーマは RBM・地域奉仕・環境事業です。

RBM 運動は国連のリードのもと、世界でマラリア撲滅に取り組む運動です。そこで、マラリアについて調べてみました。近年の著しい進歩にも関わらず、マラリアは依然として、世界で年間約 2 億人が感染し、約 65 万人が死亡する疾病です。全症例の 9 割はアフリカで発生しているそうです。

アジア太平洋地域はアフリカの次にマラリア被害が多い地域で、20 カ国がマラリア流行地域であり、毎年 3,000 万件発症し、42,000 人の死が死亡、インド、インドネシア、



パキスタン、ミャンマー、パプア・ニューギニアの 5 カ国が最も被害が大きく、地域のマラリア症例の 89%を占めるとのことです。抗マラリア特効薬が開発されていますが、まだまだ地域にいき渡ってはいません。マラリアを媒介する蚊を防ぐために、蚊帳を現地に送るなど RBM 運動はまがまだ続きます。根気よく支援をする働きにワイズメンスクラブも長らく協力しています。これからもよろしくお願いいたします。

3月例会会集計

第1例会出席	例会出席率	BF切手	
メンバー 12名	出席者 12名	累計	gm
メネット 名	メイクアップ 1名		
コメット	合計 13名	ニコニコ	
ビジター 2名	在籍者 18名		18,700 円
ゲスト 1名	(内広義会員1名)	累計	140,471 円
合計 15名	出席率 76.5%		

3月第1例会報告

日時：2024年3月20日(水)19:00~21:00

場所：ホテル竹園芦屋 (敬称略)

参加者：上野恭男会長・柏原佳子・桑野友子・島田恒・堤清・福原吉孝・中山豊美・坂東幸子・船橋知子・濱瀬眞知子・横山徹太郎担当主事

ゲスト：松田康之氏(ゲストスピーカー)元 YMCA 職員

ビジター：川崎孝子(神戸クラブ)山根泉(神戸クラブ)

3月下旬とはいえ春の訪れが待ち遠しい肌寒い1日の夕刻、上野会長の開会点鐘で、会は始まりました。

3月の例会は、新年早々、1月1日16時10分に発生した石川県能登半島地震での最新の災害復興の様子を元YMCA職員の、松田康之氏にお話していただきました。

3月20日当日に金沢の災害本部から、芦屋の第1例会にかけつけていただき、まさに今の災害復興の現状を、お話いただきました。

神戸YMCAのボランティアは1月11日から現地に入り12日から活動され、全国のYMCAは1月16日から36名のボランティアが、派遣されました。

ボランティアの大半は、今までの地震災害とは少し異なり金沢における1.5次避難所での活動だそうです。

1.5次避難所というのは今回が世界初だそうです。

能登半島という地形から、最も被害の大きい1次避難所への交通手段が遮断され、今回は、1.5次避難所が、金沢の石川総合スポーツセンターにできたそうです。ここでは、メインアリーナ(元気な方)、サブアリーナ(介護の必要な方)と、区分けされて、300ものテントが設置されていたそうです。

ここから、又2次避難所へと、避難者の方々は、移動されるそうです。犬、猫等のペット用の避難所もあったようです。



松田氏は、この1.5次避難所で55日間活動されていました。この避難所ではDMAT(災害派遣医療チーム)、JTB、阪急交通社、KSC(イベント会社)など、さまざまな分野の団体が活動されていて、そのなかYMCAは人と人とのつながりにかかわって、活動されているそうです。現場からは、まだまだ復興には想像以上に長期化するとの事です。

ニュースで知る災害情報は、石川県羽咋、輪島での情報ばかりでしたが金沢での1.5次避難所のことなど、あまりニュースで目にする事のないお話ばかりで、まさに現場からの現状の

報告を、聞いて災害活動が、阪神大震災から29年色々な分野から進んでいるのを感じました。

地震大国の日本、いつでもどこでも起きうる災害に、改めて自覚して、備えていかなければと強く感じました。

当日、災害ボランティアとして、お忙しい中現地から駆けつけてくださり、状況をお話していただきました、松田氏に感謝いたします。

その後、神戸クラブ川崎ワイズ、芦屋クラブ中山ワイズから、YMCA職員、余島所長であった、故近江岸健介氏の本(近江岸健介の話)が創刊されて、紹介されました。続いて、第2例会報告、YMCA報告、お誕生日祝いがあり閉会点鐘となりました。



濱瀬眞知子

神戸クラブ ネットナイト

3月12日神戸YMCAで行われたネットナイト例会に出席しました。スピーチは神戸クラブ特別ネット会員の斎藤明子ワイズ、スピーチ題は「在留外国人の背景と日本語教育」です。これまで日本語に不慣れな外国人のために数多くの語学支援を行ってこられた。多くの話題の中で印象に残ったことを以下に記します。

・異文化理解にはやわらかい心が大切である。日本では非常識と思われることは海外では非常識ではないことを知る「やわらかさ」が必要。また、やさしい日本語を使うことは非常に大切である。「私は神戸に住んでおります」より「私の家は神戸です」の方がシンプルでやさしい。やさしい日本語に正解はないが、大切なのは工夫と思いやりのある「やさしい」心です。

・日本語には丁寧体と普通体がある。例えば「行きます、行きません、行きました、行きませんでした」の丁寧体を普通体で言うと「行く、行かない、行った、行かなかった」となるが、問題は丁寧体では、前2文字がすべて「いき」であること。言われてみれば、日本語学習初級者にとってはこれを聞き分けることは大変である。

・海外で活躍した日本人女性が外国人男性と結ばれて日本に連れ帰るケースが増えているが、日本語ができないため就職できないケースが多い。

・小学生で来日するよりも中学生で来日の方が日本語能力が伸びる。これは、中学生になると論理的に物事を考える力がついているためとのこと。日本語が未熟な高校入学生の特別ワクは兵庫県では、現在、3人×5校で全国的にも大変遅れている。

私は国際交流に関心があり、機会があれば何かの役に立ちたいと思っているので、斎藤ワイズのお話は大変興味あるものでした。

田辺征一



六甲部第2回評議会

3月16日(土)神戸 YMCA チャペルにて開催されました。井出六甲部部長より7月から2月までの活動報告が有り、中でも9月神戸倶楽部で開催の六甲部部会は107名の参加を得てとても盛大でした。



続いて各事業主査/委員長の発表、国際・交流事業主査の柏原佳子ワイズが7クラブ合同納涼懇親会とロンボウルズ開催の報告、デジタル小委員会委員長の大岩雅典ワイズから業務省力化におけるデジタル化の役割とスキルアップについての報告が有りました。



クラブ会長の発表では上野会長がクリスマス祝会のオークション、留学生交流会等、「楽しいクラブライフを！」の実践を報告されました。続いて4つの議案が討議されました。
1号議案: 次期における次期部長の推薦で、柳敏晴ワイズを満場一致で可決、
2号議案: 鶴丹谷次期西日本区理事



を各クラブが支援する
3号議案: 評議会成立要件の緩和を可決、それに伴い4号議案は取り下げられ、全ての討議が無事完了しました。懇親会は有志のみ、中華料理ヤッチャイで美味しい料理とフリードリンク、中でも紹興酒は格別でした。



桑野友子

みどり通信 IV

いつも芦屋みどり福祉会にご支援いただきありがとうございます。今日は芦屋みどりホームの紹介をします。グループホームは「主として夜間、共同生活をする住居において、入浴、又は食事等の介護を行う。」となっています。春日町のグループホームに16人、陽光町のグループホームに12人の方が現在生活されています。親御さんがおられない、高齢であるなどの色んな理由で、自宅にて家族と暮らすことができない方たちです。土曜、日曜は帰宅される方もいますが、12名はお盆もお正月も365日ホームで暮らしておられます。夜はみんなとおしゃべりをしたり、食事をしたり、テレビを見たり元気に暮らしておられます。昼間はそれぞれ一般の就労先に出かけて仕事をしたり、みどり作業所に来られたりしています。土日の過ごし方はそれぞれで、ガイドヘルパーさんとプールに行ったり、芦屋温泉に行ったり、大好きな電車に乗って出かけたりされています。月に2



回ホームレクレーションをします。外食やカラオケや鍋パーティーやゲーム等、楽しい時を持っています。写真はカラオケを楽しんでいるみんなの様子です。

大澤昌子

【3つの小窓】

①◆災害に伴いペットのニュースも多く話題になっている。能登半島地震では【孤立集落。1人過ごした1週間。】【1時間以内に避難を！】。【でも愛犬が。】妻と2人で暮らす【60代の男性は愛犬を残して避難はできない。】とこれを拒んだ。やっと国道の開通と物資搬入が自衛隊により可能になった。1週間後に官庁からの避難命令は解除となり妻も帰り……。数年前に保健所で捕獲された元・野良犬のA君。家族の1人として育ち。畠を荒らすイノシシを追い払い、家に巢食うイタチと戦う、愛情の塊のような存在だった。飼い主は避難せず1人の間は、自宅付近の道路を塞いでいた大きな倒木の除去作業に努力を…。何とか元の生活に。実に温かいストーリーを見せて頂いた。★別件だが眼に障害があり家を失くした飼い主が【従順で賢い愛犬B君(柴犬)】だけを避難の為何処かに預かって欲しいと困っていたところ、数ヶ月後に、幸いなことに遠く離れた【他府県の保護団体】から温かい【預り支援】の動きが…。引き渡しの際には、互いに涙してリールを手渡し、再会を祈る姿があった。あ～胸傷む。

②◆家族同様のペットが未明に体調を崩しても診てくれる処がない……。動物の夜間診療体制が整っていない【空白地帯】を埋めるべく大阪公立大・獣医学部獣医臨床センター(泉佐野市)が昨年10月に国内初となる学民協働の夜間救急診療科を設置した。とのニュース発表があった。早速オープン時に夜間急患で御世話になった飼い主Aさんは来院して、すぐに獣医師3人がセンターのカバー要人として参加。多くの検診を手際よく済ませ…。アレルギーのアナフィラキシーと判明。動物用ICU装置の中で様子を見ることに……。この様に大学の獣医師だけでなく地域で勤務、開業している獣医師もメンバーに入る。とのこと。このセンターは国際認証をめざし実習の場として地域唯一の養成校となる予定との事。★既にある地域に【日本動物高度治療センター】との大きな看板が出ていた。大変心強い事だ。

③◆【消えてゆく流氷！】《30年で厚み3割減。面積も縮小傾向》《鉄分が運ばれず海の豊かさ損なう恐れ。》【産業革命以来の地球温暖化が本年も記録的に進む！とある。】北海道のオホーツク海側では今年も各地に流氷が押し寄せ2月10日に接岸の初日を迎えた。例年、春の風物詩だった一面の流氷。



しかし残念なことにあの壮大な風景が観られない。これでは海の生態系や漁業にどんな影響がでるのか。流氷には、大陸のアムール

川などを起源と【鉄分が豊富に含まれており】春の流氷が解けることで海に鉄分が防出される。その結果、春のオホーツク海では植物プランクトンが大増殖する。それが動物プランクトンなどの餌となり魚類を含む海の生態系全体を支える。【ホタテ貝】や【毛ガニ】【スケドウダラ】など北海道沖は世界的漁業生産量を誇り《豊穡の海》と呼ばれる。【三陸沖】などでも《豊かさが損なわれる恐れがあると》。北大・海洋学の学者が指摘している。《海鮮類ファンは何かと痛手ですわね～。人類皆んなでADGs目標を》【篠坂幸彦】

『 聖句 読み説き 』

ガリラヤ湖を見下ろす丘陵地のカナの村で三日目に婚礼の酒宴が開かれた。そこでぶどう酒が足りなくなってしまう。イエスと弟子たち、イエスの母も招かれていた。母はイエスに事情を伝えると「わたしの時はまだ来ていません」とそっけなく対応するイエス。しかしイエスは入り口に置いてある六つの水瓶にいっぱい水を満たして、汲んで世話役に渡せと指示される。世話役は水がぶどう酒に変わってしまっているのを知って驚く。イエスはこの最初のしるしをガリラヤのカナで行って、その栄光を現わされた。この奇跡物語の意味するところは、イエスが神の栄光を受ける時は、十字架の死と三日後の復活にあることにある。水は汚れを清めるといふ旧約の教えから来ているのに対し、ぶどう酒は主イエスの犠牲の象徴・十字架の血を意味している。新しい生命へと導く主イエスの福音がヨハネによって語られている奇跡物語である。

羽太英樹

3 月第2例会議事・報告

と き: 3 月 27 日(水)19 時～

と ころ: 芦屋市民センター204 号室

参加者: 上野会長・大岩・桑野・島田・田辺・堤・濱瀬・
阪東・福原・柏原・(敬称略)、横山担当主事

議事・報告

□ブリテン編集会議:19 時 00 分～ 桑野編集長

□第1例会など今後の予定

・4 月 17 日(水) スターティング・オーバー

・5 月 15 日(水) ゲストスピーカー山本 一牧師
「サンノゼの光と陰」

・6 月 19 日(水) 次期会長と共にこれからの1 年を考える

□今後の予定

・毎月第4 月曜日 18 時 30 分より

2025 年度西日本区大会実行委員会

・4 月 7 日(日) 芦屋さくら祭り

準備及び担当等積極的に役割分担がなされた

・6 月 8 日(土)13 時～西日本区大会 名古屋市公会堂、懇親会: 18 時～ANA クラウンプラザホテル

参加者: 上野会長・大岩・桑野・田辺・福原・船橋・
柏原・島田?

□2 月会計報告 桑野会計 承認

□討議事項

・3 月ゲストスピーカー松田康之氏へ交通費 10,000 円を支給の件 承認

・西日本区大会参加者への補助金(7,000 円)の件 承認

・次期西日本区理事への義援金の件: 25,000 円 2 年間 50,000 円をクラブから支援する件 承認

・「近江岸健助の話」21 冊をクラブが預かり1 冊 1,000 円で18 冊が引き取られた。3 冊は書記の手元で預かり
濱瀬 5・阪東 3・島田 2・柏原 2・上野、桑野、大岩、田辺、堤、福原(各 1)

□YMCA 報告 横山担当主事

50 名の留学生の為、生活用品(新品)を4 月 3 日まで
に集めた。宜しくご協力お願いいたします 以上

書記 柏原佳子

スターティング・オーバー エンタイナー紹介



テトラポット

京都で活動しているブルーグラスバンドです。マイク1本に近づいたり離れたりしながらバンジョー・マンドリン・ギター・ウッドベースを演奏する!まさにロックンロールの原点。

彼らのパフォーマンスはブルーグラスの世界に引き込む力が凄い。別世界に連れて行ってくれます。どうぞお楽しみください。

YMCA ニュース

神戸 YMCA 学院専門学校 卒業式

去る3月7日に、2023年度神戸YMCA学院専門学校(日本語学科・ホテル学科)の卒業式が、神戸聖愛教会にて執り行われました。卒業生たちは、2年間、1.5年、1年とそれぞれの学校生活において、様々なことがありながら学業に取り組んで参りました。今年は、日本語学科66名、ホテル学科21名、計87名の学生が、すべての過程を終了し、卒業しました。コロナの影響を受けることなく、式典後の茶話会や卒業生を送る会も実施することができました。卒業生たちは、これからそれぞれの場所に進んでいきます。歴史と伝統あるこの学校で学業を最後までやり通した経験を活かし、社会に出てからも神戸YMCAの卒業生として活躍してくれることを信じています。

春信州志賀高原スキーキャンプ 小学生&中学生

3月26日～3月30日、春信州志賀高原スキーキャンプを



実施しました。生まれて初めてスキーをする仲間たちもいました。何度も転び、そのつど立ち上がり、うまくなりたい一心で頑張っ滑りました。経験者たちも、ガンガン滑りました。指導

者して下さる方から、ただスキーが上手い人になるのではなくてスキーができる”いいやつ”になって欲しい。転んで困っている人がいたら助けてあげられるような人に。というメッセージがありました。こどもたちは、恵まれた環境のなか、たくさん滑ることができました。キャンパーたちはスキーを通して、技術だけでなく、心もひとわり大きくなりました。

横山徹太郎



編集後記: 神戸王寺動物園のパンダ(タンタン)が亡くなりました。阪神淡路大震災の復興を願って28年前に中国から貸与され、多くの人に愛されました。 桑野友子